

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

## ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 私立つくば開成高等学校

担当教諭名 原田健二

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

### 記

実施日時	平成23年9月28日(水) 13:30～15:30
対象学年と人数	高校1年～3年 計10名
派遣講師名と出身国	チョン・ザヒ さん(韓国)
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・あいさつ</li><li>・韓国語講座(あいさつや自己紹介の仕方/少女時代の歌)</li><li>・民族衣装体験(チマチョゴリを着てみよう!)</li><li>・講師の方へのQ&amp;A</li></ul>
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	今回の交流は、異文化理解の第一歩として、主にライフスタイルや文化的側面に的を絞ったものでした。本当の意味で日本と韓国が理解を深めるために、歴史的な側面にも焦点を当て、単発でない連続的な授業の中で、互いの文化を理解できるようにしていくことが、次のステップであり課題だと感じました。
生徒・保護者等参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"><li>・国を越えて、同じ習慣や違う文化、それぞれがあって面白いと思いました。</li><li>・今までは、そこまで海外に興味がなかったけれど、今回の交流をとおして、海外全体に興味をもつようになりました。それをきっかけに、もっと異文化を知って視野を広げたいと思います。</li><li>・韓国の方々にも震災のことが大きく影響をしていることを知って、違った意味で驚きを感じました。</li><li>・韓国には韓国の文化があり、日本には日本の文化がある。文化を共有したら世界が広がり、異文化理解が深まっていくんだと思った。</li><li>・日本と韓国が本当に仲良くなるのは、不可能じゃないと信じられました。</li></ul>
先生の感想	講師と生徒との年齢も近かったため、共通の話題(音楽や芸能)でコミュニケーションがより円滑になった。また、授業の後半で行った民族衣装体験や講師へのQ&Aコーナーでは、両者の距離がさらに近くなり、短いひと時ではあったが、有意義な交流活動を行うことができた。



茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

## ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 私立つくば開成高等学校

担当教諭名 原田健二

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

### 記

実施日時	平成23年12月22日(木) 13:30～15:30
対象学年と人数	高校1年～3年 計8名
派遣講師名と出身国	エリーゼ・ハタード さん(カナダ)
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・あいさつ</li><li>・カナダでのクリスマスについて学ぶ</li><li>・クリスマスソング</li><li>・講師の方へのQ&amp;A</li></ul>
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	最初はコミュニケーションをとることに緊張していた生徒も、時間が経つごとに、その緊張も解け、明るい表情で交流する姿が見られました。英語・日本語を交えての交流でしたが、どちらの言語であっても、コミュニケーションをとって意志を伝える大切さが感じられたのではないかと思います。外国というと敬遠しがちな日本ですが、このような異文化理解・交流の体験が当たり前のような雰囲気にしていくことが、今後の大きな目標だと感じています。
生徒・保護者等参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"><li>・カナダのクリスマスは、国全体がそういう雰囲気です。プレゼントや食べ物を貧しい人にも配ってあげる習慣がある。皆が幸せになれるすばらしいイベントだと思った。</li><li>・カナダにアニメやカラオケ等の文化がいたりして、おもしろいと思った。</li><li>・世界を知るには、その国の人から直接聞いた方がいちばんだと改めて思った。</li><li>・英語で質問して通じたり、相手が話していることが部分的にでも理解できると楽しかった。</li><li>・意見を言うのは大切だと思った。英語ができれば、もっと楽しんだろうなと思った。</li><li>・海外の人を通して、日本の素晴らしいところを知ることができた。</li><li>・やはり世界共通語として、英語は必要だと思いました。</li><li>・クリスマスソングを歌ったりするのが、楽しかったです。</li><li>・伝えようという気持ちを持って話すことで、自分の言葉が届いて嬉しかったです。</li></ul>
先生の感想	とても楽しくそして意義深いイベントを実施することができました。茨城県の国際交流員でもあるエリーゼさんは日本語も堪能で、日本語と英語を交えてコミュニケーションをとっていただきました。世界共通語として英語を話すのはもちろん、日本語であっても、積極的にコミュニケーションをとり、自分の意志を伝えることの大切さを学ぶことができました。生徒には、このような体験を重ね、世界に目を向け、将来世界に羽ばたくことができるような立派な国際感覚を身につけた人物になってほしいと感じています。

